

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	国連環境計画拠出金		事業開始年度	平成16年度	作成責任者	
担当部署	総合政策局		担当課室	海洋政策課	課長 米田 浩	
会計区分	一般会計		上位政策	海洋・沿岸域環境や港湾空間の保全・再生・形成、海洋廃棄物処理、海洋汚染防止を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本海を含む日本周辺海域の環境保全と改善に取り組む枠組みである「北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)」に対して資金的な支援をすることにより、我が国が接する日本周辺海域の海洋環境の改善を目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	NOWPAPは、国連環境計画(UNEP)の提唱する地域海計画の一つであり、日本海を含む日本周辺海域の環境保全と改善を目的とした北西太平洋地域海計画として日本・中国・韓国・ロシアが参加している。我が国は2000年に事務局を国内(富山市)へ招致しており、国土交通省は富山県と外務省と共にその事務局運営費を拠出している。					
実施状況	NOWPAPについては2004年度(平成16年度)から、拠出金を適切に支出している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18	18	16	14	14
	執行額	17	17	14		
	執行率	94.4%	94.4%	87.5%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途ともに、以下の通り十分に把握している。 NOWPAP拠出金: 我が国からの拠出金は、UNEPに対し、用途及び使用実績の報告を受けた上で支出しており、かつ、当該資金の活用主体であるNOWPAPの事業計画・予算・執行状況についてもNOWPAP IGM(北西太平洋地域海計画政府間会合)において各国と調整の上、承認している。				
	見直しの余地	NOWPAP拠出金: 2004年に国際合意によりNOWPAPの事務局を日本(富山)及び韓国(釜山)に設立し、その運営費をそれぞれ日本及び韓国で負担することが決定されており、支出を行わないことは不可能であるが、加盟国とも連携を図りつつ、引き続きNOWPAPに対して効率的な運営を求めていく。				
予算監視の効率化	【現状維持】 国際約束で決められた分担金を支出しなければならないことから、現状維持とする。					
補記	【予算科目】 ・008 海洋環境対策費 ・95 海洋・沿岸域環境の保全等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2725-16 国連環境計画等拠出金 16百万円 14百万円					

国土交通省  
14百万円



【拠出金】

A. 国連環境計画(UNEP)  
14百万円

〔北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)  
の運営〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.国連環境計画(UNEP)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事務局職員(3名)	56			
その他	国連環境計画(UNEP)による管理費	7			
	※富山県、外務省、国交省により拠出金された運営費全体の使途(2008年度)				
	上記の内日本負担分	14			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0